

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 調査対象 第6学年児童48名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均と同程度でした。
算数は、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

課題が見られた項目

- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

5 学力向上の取組

今回の調査結果では思考力・判断力・表現力等に関する問題に課題が見られました。本校では今後、下記の点について重点的に取り組んでいきます。

- 国語：目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動の充実
 - ・文章は段落ごとの内容やつながりを意識させながら読み取れるようにします。
 - ・自分の考えを説明したり発表したりする際には資料を活用し、工夫して伝えられるようにします。
- 算数：適用とまとめの時間を確保した授業の継続
 - ・授業では「まとめ」と「振り返り」の時間を確保し、学習の定着を図ります。
 - ・思考過程を可視化したり、互いの考えを共有し合ったりする場面では、ICTを積極的に活用しながら自力解決に導きます。
 - ・学習支援員と連携を図りながら、個々のつまずきに応じた支援に努めます。
- 読書活動の推進
 - ・学校司書及び家庭と連携しながら、読書意欲及び学習意欲の喚起に努めます。

6 保護者の皆様へ

児童の家庭学習及び読書時間の確保について、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

- 短期的または長期的な家庭学習のプランを自分で立てて取り組めるようにします。
- テレビゲームの時間を減らし、活字や良質なテレビ番組等に触れる時間を増やすことで読書や学習への興味関心を高めていけるようにします。